

調達

ミッション：持続可能な調達活動を通じ社会価値を創造する

私たちは、長期的に環境、社会、経済をよりよくしていくため、次に掲げる4項目をサプライチェーン全体に浸透させていくことで、持続可能な社会と価値創造の実現に向け、誠実に取り組みます。

- ・透明性
- ・コンプライアンス
- ・QCD（品質、コスト、供給）&イノベーション
- ・持続可能な調達活動

2018年にブリヂストングループは、「グローバルサステナブル調達ポリシー」を策定しました。これにより適正な調達先選定要件を明確にし、ベストプラクティスを促進し、また、関連業界にとってのコミュニケーションや改善のツールとしても活用しています。本ポリシーをもとに、長期的に環境、社会、経済をよりよくするためにも、お取引先様と協力して持続可能なサプライチェーンの早期実現に貢献していきます。

ブリヂストングループは、世界各地で本ポリシーの展開活動を進めしており、既に98%（2,400社）を超える主要なお取引先様より、本ポリシーを受領いただいたことを確認しています。また、2019年5月14日時点で約41%（424社）を超えるタイヤ原材料のお取引先様に、サステナビリティに関する国際的な調査・評価機関であるEcoVadis社によるアセスメント評価を受けていただいている。さらに、ブリヂストングループ内でも、調達、法務、技術、販売部門の従業員数百名を対象に当ポリシーに関する研修を実施しています。

ブリヂストングループは、本ポリシーを天然ゴムのお取引先様の方々にもご理解いただくために、様々な地域での説明会を開催しています。また、天然ゴムの生産工場に直接訪問し、天然ゴムの品質改善を支援するとともに、トレーサビリティーや持続可能性の向上に関する協議も行っています。

2019年は、引き続きEcoVadis社と提携してお取引先様のサステナビリティに関するアセスメントおよび改善のための支援を行うとともに、サプライチェーンの持続可能性と透明性向上に向けたベストプラクティスとなるべく、更なる活動の推進を継続していきます。

「ブリヂストングループは、責任ある調達活動を通じてサステナビリティを推進している企業の代表例です。サプライヤーとの積極的な協働は、企業のCSR活動全体を向上させる最善の方法であり、さらに調達先の地域社会を良くしていくことにもつながります。」

—Pierre-Francois Thaler, Co-CEO, EcoVadis

The logo for EcoVadis, featuring the company name in a bold, sans-serif font with a green 'o' in 'Eco'.

調達

「2018年は、ブリヂストンと私たち持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）にとって特別な年となりました。タイヤ産業プロジェクト（TIP）を通じ、様々なステークホルダーによる「持続可能な天然ゴム調達のためのプラットフォーム」（GPSNR）を構築し始動させたブリヂストンのリーダーシップは、賞賛に値します。GPSNRは、WBCSDのコアミッションを元にしたタイムリーな活動であり、今後も持続可能な世界への移行を加速させるために一緒に取り組んでいきたいと思います。持続可能な社会の構築に向けた難しい課題に対して、ブリヂストングループのようなWBCSD加盟企業が、事業を通じて影響力が大きなソリューションを提供していくことが重要です。」

—Peter Bakker, President and CEO,
World Business Council for Sustainable
Development

パートナーシップ

ブリヂストングループは、持続可能なサプライチェーンの実現に向け、長期的に環境・社会・経済を良くするための調達活動を、着実に推進しています。この活動は自社だけで取り組めるものではなく、多様なステークホルダーの皆様との協力が必要不可欠です。ブリヂストングループは、持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）のタイヤ産業プロジェクト（TIP）を通して、世界のタイヤ生産能力のおよそ65%を占めるタイヤメーカー11社で協力し、グローバルな取り組みを展開しています。

TIPでは、タイヤがそのライフサイクルにおいて、人体の健康や環境に及ぼし得る影響を特定し、解決することを目的として活動しています。

また、TIPメンバーが中心となり、天然ゴムのサプライチェーンにおける、環境面・社会面・経済面の改善を目的とした、「持続可能な天然ゴムのためのプラットフォーム」（GPSNR）を、様々なステークホルダーの皆様とともに始動しています。GPSNRを通じて、ブリヂストンを含むタイヤメーカー、天然ゴムサプライヤー、自動車メーカー、NGOなどの様々なステークホルダーのメンバーは、人権尊重の促進、土地収奪や森林破壊の回避、生物多様性や水資源の保護、天然ゴムの収量の向上、サプライチェーンの透明性とトレーサビリティー向上のための基準作りを進めています。

世界の天然ゴム生産の大半は東南アジアの小規模ゴム農家で行われており、ブリヂストングループはそこで生産された天然ゴムを多く使用しています。しかしこれら農家の生産性は低く、天然ゴムの品質と生産量にばらつきがあります。そこで、ブリヂストングループでは、生産性・品質の高い天然ゴムの苗木を配布するとともに、自社農園向けに開発した生産性向上技術などを提供し、小規模農家の生産性と品質の向上を支援しています。

また、ブリヂストングループでは、ダイバーシティとインクルージョンを尊重しており、その考え方は調達活動でも実践されています。BSAMでは、従業員やお客様、地域社会を重視しているお取引先様からの調達を推進しており、先住民、障がい者、少数民族、LGBTQ²¹ コミュニティ、退役軍人、女性を含めた多様なお取引先様との取引を積極的に増やしています。

詳しくは、[Webサイトをご覧ください。](#)



²¹LGBTQは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クィア／クエストショニングを意味する表現。アライはLGBTQを理解し、支援する人を指す。出典：GLAAD Media Guide